

平成29年度 第1回 学校運営協議会 記録

男鹿市立潟西中学校

日 時 平成29年5月22日（月）13：30～15：00
会 場 校長室

□協議会（司会：教頭）

(1) 学校経営説明（基本方針及び具体的取組）（校長）

- ① CSが目指すもの
- ② 今年度の基本方針
- ③ CSの取組

(2) 本校教育に関する意見や質問を交えた協議（各学校運営協議会委員）

【柴田委員】（質問）

校長、職員ともども頑張っているのが伝わってくる。
目指す生徒像として、意識できるよう具体的な姿を明記して取り組んでいる。
昨年度の受験生の様子から学力も上向いてきている。
昨年度提案した校報の全校配付や文字サイズの拡大も引き続けている。

【鈴木委員】

ハガキで返事が来るなど校報の成果が出ているので今後も続けてほしい。
学校経営は非の打ち所がなく、生徒職員が一体になって進めている。
地域との関わりである地域ボランティアに力を入れて生徒を育ててほしい。

【校長】

昨年度は、全校生徒参加のボランティア活動を夏休みに一人一回行った。今年度も宮沢海岸の清掃やメロンマラソンなどのボランティアを行っていきたい。

【大淵委員】

4月の残存湖のクリーンアップで、自分の地区には中学生が2名参加し、地域の人がとても喜んで声を掛けていた。

生徒が地域行事に参加すると学校への親近感が出てくる。

【加藤委員】

五里合地区にも参加していた。

好きで勉強することが一番よいが難しい。嫌いでも勉強しなければいけないことを理解させ、勉強を続けさせてほしい。

校報の内容はよいが、字数が多いと読むのが大変なことがある。見やすい工夫をしてほしい。

【校長】

今年度は基礎テストを10回にし、満点を奨励することになっている。

【佐藤勝委員】

昨年度学校の草刈りをした。勤めがあるので、夕方学校に寄って草を刈ったが、勝手に刈ってよいのか迷った。職場の帰りに声かけをすると、皆喜んで集まってくれるので、土日など参加しやすい時間を設定するのもよい。

【鈴木委員】

決められた日時なかったり、学校支援ボランティアとして登録していなかったりしても、学校への奉仕活動ができるなど、参加しやすいように通知の呼びかけを工夫してもよい。

【村上委員】

学校運営協議会委員としてではなく、PTAとして見てしまう。

子どもには地域の行事に参加してほしい。子どもが、昨年の大晦日のなまはげ行事に参加することができた。面白かったという感想で、学校でも紹介されてうれしかった。

【校長】

この後も防災訓練など地域との関わりを深めていきたい。

地域の中で、学校でお願いできる人材がいたら紹介してもらいたい。

【各委員】

そばの進藤さん、読み聞かせの小玉さん、吉田さん、中学生が小学校に行って読み聞かせをしてもよい。

(3) 役員選出